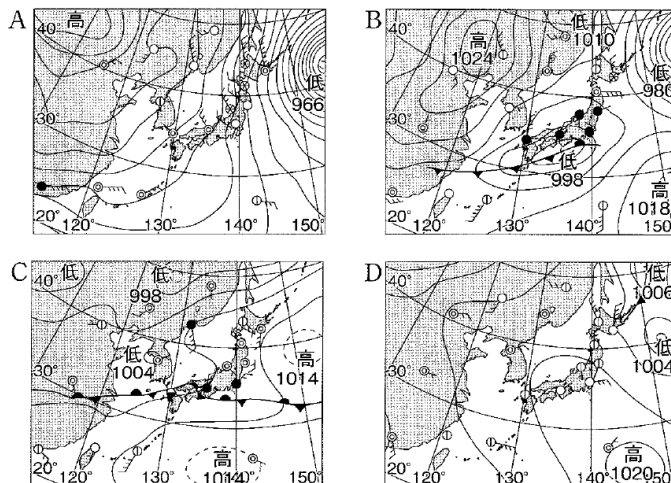


4 次の図のA～Dは、日本付近の春、梅雨、夏、冬のいずれかの季節の代表的な天気図を表している。

また、あとのP～Sは、それぞれ図のA～Dのいずれかの時期の気象の特徴について説明したものである。これについて、あとの問いに答えなさい。



- P 移動性高気圧と温帯低気圧が次々に日本列島を通過し、同じ天気が続かない。
 Q ユーラシア大陸上の気団が発達し、日本海側は降雪、太平洋側は乾燥した晴天が多い。
 R 太平洋上の気団が発達し、日本列島全体が南からの湿った空気におおわれる。
 S 停滞前線が日本列島付近に停滞し、雨やくもりの日が多くなる。

- (1) 図のA～Dのうち、①春の天気図を表しているものはどれか。また、説明P～Sのうち、②春の特徴について説明したものはどれか。最も適当なものをそれぞれ1つずつ選び、記号で答えなさい。
 (2) 図のAの天気図に見られる、この季節に特有の気圧配置を何というか。名称を漢字4字で答えなさい。
 (3) 次の文は、図のDの天気図の時期にふく、特徴的な季節風についてまとめたものである。文中の{|}にあてはまるものをそれぞれ選び、記号で答えなさい。

陸は海よりも①{|ア あたたまりやすい イ あたたまりにくい|}性質をもっているため、大陸上の空気の密度が②{|ア 小さく イ 大きく|}なって気圧が低くなり、太平洋上の気圧のほうが高くなる。そのため、③{|ア 北西 イ 南東|}の季節風がふく。

- (4) 説明Pについて、移動性高気圧と温帯低気圧が次々に日本列島を通過するのは、日本の上空付近に強い西寄りの風がふいているためである。この風の何を何というか。名称を答えなさい。
 (5) 説明Sの下線部について①停滞前線の北側にある気団は何か。名称を答えなさい。また、②その気団はどのような性質をもっているか。最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。
 ア 冷たく、湿っている。 イ 冷たく、乾燥している。
 ウ あたたかく、湿っている。 エ あたたかく、乾燥している。

- (1) Aは冬、Bは春、Cは梅雨、Dは夏の代表的な天気図である。また、Pは春、Qは冬、Rは夏、Sは梅雨の気象の特徴について説明したものである。
 (2) 冬はシベリア気団が発達することで、Aのように等圧線が南北に密になって、西高東低の気圧配置(西側の気圧が高く、東側の気圧が低い状態)になり、北西の季節風がふく。
 (3) 夏は小笠原気団におおわれ、南高北低の気圧配置(南側の気圧が高く、北側の気圧が低い状態)になり、南東の季節風がふく。
 (5) 梅雨の時期は、南側のあたたかく湿った小笠原気団と北側の冷たく湿ったオホーツク海気団の間に停滞前線ができる。この時期にできる停滞前線を梅雨前線という。

(1)	① B	② P	16
(2)	西 高 東 低 漢字4字指定		
(3)	① ア	② ア	③ イ 18
(4)	へんせいふう 偏西風		
(5)	①	オホーツク海気団 かいきだん	
	②	ア	